



BOM for Windows Ver.6.0  
SNMPトラップ受信機能  
ユーザーズマニュアル

2016 年 7 月 1 日

## 免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関する責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

## 著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

Copyright © 2014-2016 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.

本ユーザーズマニュアルに記載されている BOM はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。その他会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

なお、本文および図表中では、「™ (Trademark)」、「® (Registered Trademark)」は明記しておりません。

**■ 目次**

本ユーザーズマニュアルについて .....	1
製品表記 .....	1
使用方法 .....	1
表記規則 .....	1
<b>第 1 章 システム構成 .....</b>	<b>2</b>
1.1 動作概要 .....	2
1.2 システム要件 .....	2
<b>第 2 章 インストール .....</b>	<b>3</b>
2.1 動作環境 .....	3
2.2 BOM SNMP マネージャーサービス インストール前の事前準備 .....	5
2.3 インストール手順 .....	6
2.3.1 BOM SNMP マネージャーサービスの追加インストール .....	6
<b>第 3 章 アンインストール .....</b>	<b>16</b>
3.1 BOM SNMP マネージャーサービス アンインストール前の事前準備 .....	16
3.2 アンインストール手順 .....	16
3.2.1 BOM SNMP マネージャーサービスのアンインストール .....	16
<b>第 4 章 設定ファイルの編集 .....</b>	<b>18</b>
4.1 EventLevel.txt .....	18
4.2 FilterBlack.txt .....	18
4.3 FilterWhite.txt .....	19
4.4 GetOIDList.txt .....	20
4.5 snmpV3Setting.txt .....	22
4.6 設定ファイル暗号化ツール .....	23
<b>第 5 章 SNMP トラップ受信 .....</b>	<b>24</b>
5.1 トラップ受信について .....	24
<b>第 6 章 BOM マネージャーとの連携 .....</b>	<b>25</b>
6.1 BOM SNMP トラップ受信機能監視テンプレートについて .....	25
6.1.1 注意点 .....	25
6.1.2 テンプレートの詳細について .....	25
6.1.3 BOM SNMP トラップ受信機能監視テンプレート適用方法 .....	26
<b>第 7 章 Q&amp;A .....</b>	<b>29</b>
<b>第 8 章 ライセンス表記 .....</b>	<b>30</b>

## 本ユーザーズマニュアルについて

### 製品表記

本ユーザーズマニュアルでは、以下の製品について略称を使用しております。

正式名称	本マニュアルでの呼称(略称)
BOM for Windows Ver.6.0	BOM 6.0
BOM for Windows Ver.6.0 SNMP トラップ受信機能	BOM SNMP トラップ受信機能

### 使用方法

本ユーザーズマニュアルには、BOM SNMP トラップ受信機能を使用する際に必要となる詳細な情報と手順が記載されています。

本ユーザーズマニュアルを使用するには、Microsoft Windows オペレーティングシステムについての実際的な知識と、BOM for Windows Ver.6.0 の基本的な知識、SNMP に関する基本的な知識が必要です。

### 表記規則

本ユーザーズマニュアルでは、以下の表記規則を使用しています。

表記	説明
‘参照先’	シングルクォート内(‘と’)は本マニュアル内、あるいは別のマニュアルの参照を示します。
“ラベル”	ダブルクォート内(“と”)はラベル名を示します。
「タブ」	鉤括弧内(「と」)はプロパティシート等でのタブ名を示します。
[ボタン]	角括弧内([と])はボタン名を示します。
<キー>	山括弧(不等号記号)内(<と>)はキーボード入力を示します。
(補足説明)	丸括弧内(「(」と「)」)は補足説明を示します。

## 第1章 システム構成

### 1.1 動作概要

BOM SNMP トラップ受信機能は、BOM for Windows Ver.6.0 が導入済みの Windows コンピューターに BOM SNMP マネージャーサービスを追加インストールすることにより動作します。

他のコンピューターやネットワーク装置など、SNMP トラップ送信に対応した機器などから送信された SNMP トラップを受信し、受信した SNMP トラップは Windows OS のアプリケーションイベントログに出力します。また、受信したトラップに対応した MIB ファイルを正しいフォルダーにコピーすることにより、トラップをデコードしイベントログへ出力することも可能です。

イベントログに出力された BOM SNMP トラップ受信機能のログを、BOM 6.0 のイベントログ監視により監視を行い、BOM 6.0 SR2 との連係動作が可能です。

### 1.2 システム要件

- インストール先の OS やシステム構成が、BOM 6.0 SR2 の動作要件に適合していること
- BOM 6.0 SR2 がインストールされ正常に動作していること
- SNMP トラップ受信に必要なポートが解放されていること
- インストール先ボリュームに 15MB 以上の空き容量があること
- OS 標準の SNMP Trap を停止（無効）にしても問題の無い環境であること。

## 第2章 インストール

### 2.1 動作環境

#### A. BOM SNMP トラップ受信機能の動作要件

BOM SNMP トラップ受信機能は、以下の OS で動作いたします。

サポート OS ※1		
バージョン	エディション	サービスパック
Windows XP ※2	Professional	SP3
Windows Server 2003	Standard Edition	SP2
	Enterprise Edition	
	Standard x64 Edition	
	Enterprise x64 Edition	
Windows Server 2003 R2	Standard Edition	SP2
	Enterprise Edition	
	Standard x64 Edition	
	Enterprise x64 Edition	
Windows Vista	Business Edition (32-bit/64-bit)	SP2
	Enterprise Edition (32-bit/64-bit)	
	Ultimate Edition (32-bit/64-bit)	
Windows Server 2008 ※3	Standard Edition (32-bit/64-bit)	SP2
	Enterprise Edition (32-bit/64-bit)	
Windows 7	Professional Edition (32-bit/64-bit)	SP1
	Enterprise Edition (32-bit/64-bit)	
	Ultimate Edition (32-bit/64-bit)	
Windows Server 2008 R2 ※3	Standard Edition	SP1
	Enterprise Edition	
Windows 8	Pro Edition(32-bit/64-bit)	Update なし
	Enterprise Edition (32-bit/64-bit)	
Windows Server 2012 ※3	Standard Edition	Update なし
	Datacenter Edition	
Windows 8.1	Pro Edition(32-bit/64-bit)	Update なし～
	Enterprise Edition (32-bit/64-bit)	Update1
Windows Server 2012 R2 ※3	Standard Edition	Update なし～
	Datacenter Edition	Update1
Windows 10	Pro Edition(32-bit/64-bit)	Update なし
	Enterprise Edition (32-bit/64-bit)	

※1. OS への対応検証はサービスパック単位となっており、個別パッチ (Hotfix, QFE など) 毎の検証は行っておりません。

ただし、個別パッチが BOM SNMP サービスの動作に影響を与える場合は、[弊社の Web サイト](#)にて情報を提供いたします。

※2. Windows XP x64 Edition は Microsoft 社が SP3 をリリースしていない為、サポート対象外です。

※3. Server Core へ BOM SNMP サービスはインストールできません

## B. 対応 SNMP バージョンについて

BOM SNMP トラップ受信機能では、以下の SNMP バージョンに対応しております

対応バージョン	v1 ※1
	v2c
	v3 ※2

※1 IPv6 環境下のみでは正常に動作しません。これは RFC に準拠している為です。詳細は RFC1175 を参照してください

※2 UI 上での設定はできません。詳細は '2.3.1 CSNMP マネージャーサービスの受信設定 設定ファイルからの方法 (v3 用)' を参照してください

## C. 対応 MIB について

ハードウェアベンダー、ソフトウェアベンダーなどから提供されている MIB を適用する場合には、以下の内容に準拠した書式の MIB ファイルを適用することが可能です

準拠が必要な RFC 番号	RFC2578-Structure of Management Information Version 2 (SMIv2)
	RFC2579-Textual Conventions for SMIv2
	RFC2580-Conformance Statements for SMIv2

なお、SNMP トラップの制限事項については、Net-SNMP の公開サイトをご確認ください。

重大な制限事項・弊社サービス独自の制限事項につきましては[弊社 Web サイト](#)にて情報を公開いたします。

## D. MIB ファイルの保存場所について

ハードウェアベンダー、ソフトウェアベンダーなどから提供されている MIB を適用する場合には、下記アドレスへ該当の MIB ファイルを保存してください。

アドレス : "BOM インストールパス¥SAY Technologies¥BOMW6¥Common¥snmp¥mibs"

※既存の MIB 定義をベンダーが提供している MIB 定義で置き換えないでください

※既存の MIB 定義を置き換えた場合正常に SNMP トラップが送信できない可能性があります

## 2.2 BOM SNMP マネージャーサービス インストール前の事前準備

BOM SNMP マネージャーサービスをインストールするには、以下の設定を事前に行う必要が有ります。

- 管理者権限を持つアカウントにてログインしていること
- Windows 監視インスタンスのライセンスキーが登録してあること  
※評価版ライセンスキーは評価期間が切れているものを使用することはできません
- SNMP トラップ受信が正常に行えること(ポート番号:162 が解放されていること)
- BOM 6.0 マネージャーを終了していること  
※監視サービスは稼働していても問題ありません
- BOM 6.0 コントロールパネルを終了していること



## 2.3 インストール手順

SNMP トラップ受信コンピューターに、BOM SNMP マネージャーサービスのインストール手順を以下にご案内いたします。

なお、インストール作業は管理者権限が必要となりますので、管理者権限を持つアカウントにてログオンの上、作業を行ってください。

※ 以降の手順は必要な作業項目の概要のみを抽出した概略手順となります。

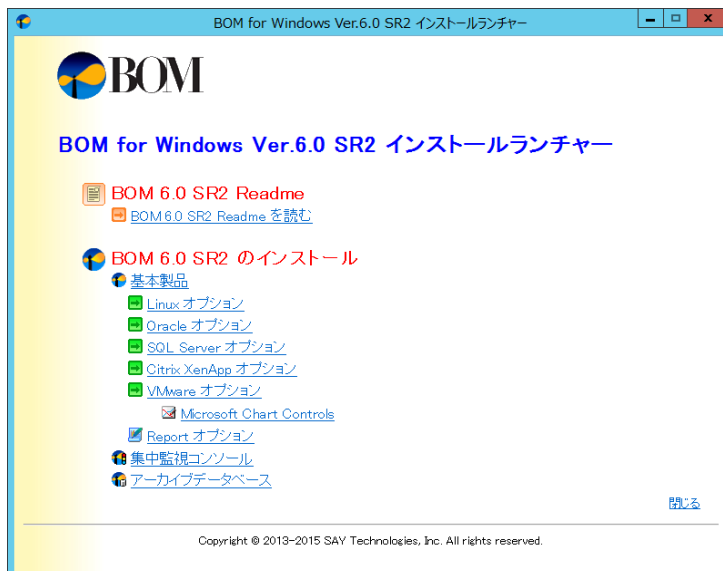
BOM 6.0 の詳細な導入手順については、「BOM for Windows Ver.6.0 インストール マニュアル」をご参照ください。

### 2.3.1 BOM SNMP マネージャーサービスの追加インストール

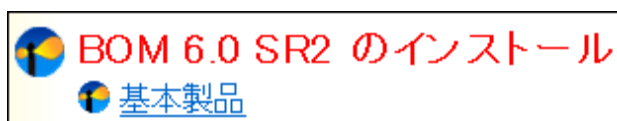
SNMP トラップ受信をするため、BOM SNMP マネージャーサービスのインストールは、以下の手順にて実施します。

#### A. BOM SNMP マネージャーサービスのインストール

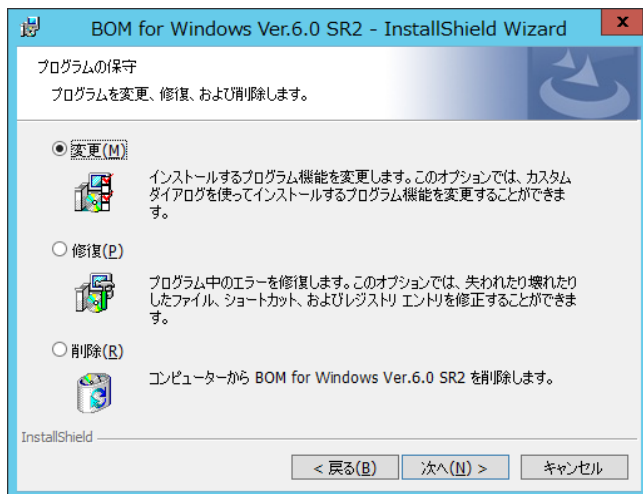
1. BOM 6.0 SR2 の DVD-ROM をコンピューターに挿入し、インストールランチャーを起動します



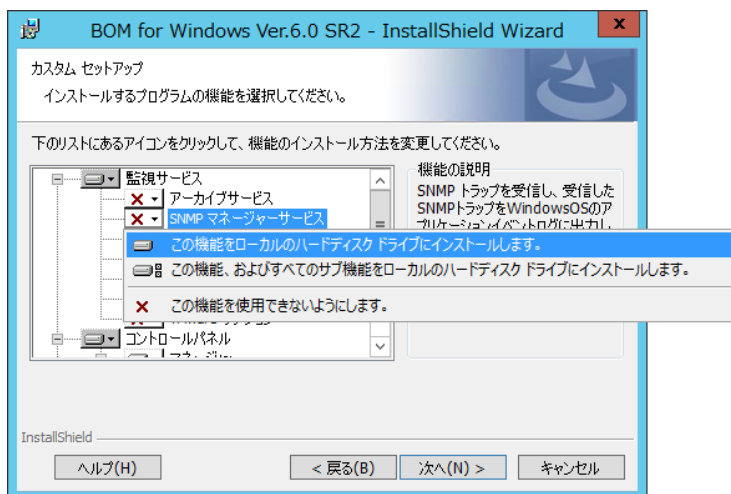
2. “基本製品”をクリックします



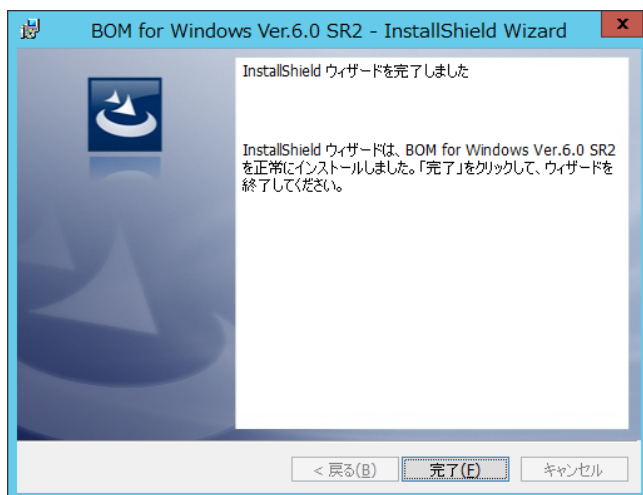
3. “プログラムの保守”画面にて、“変更”を選択し、[次へ]ボタンをクリックします



4. “SNMP マネージャーサービス”にて、×アイコンをクリックしたメニューから“この機能をローカルのハードディスクドライブにインストールします。”を選択します



5. セットアップウィザードに従い、BOM SNMP マネージャーサービスのインストールを完了させます



## B. SNMP マネージャーサービスの受信設定 UI からの設定方法 (v1、v2c 用)

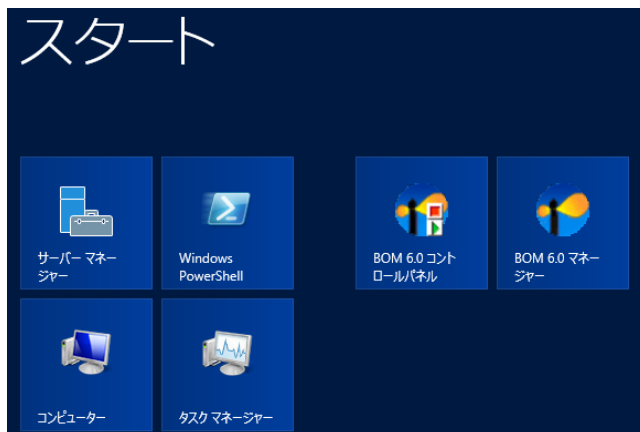
BOM SNMP マネージャーサービスで SNMP トラップ (v1, v2c) を受信するためには、事前に送信元 SNMP トラップエージェントの設定を指定する必要がある有ります。

以下に SNMP マネージャーサービスでの SNMP トラップの受信設定手順の概要を示します。

※v3 は UI 上で設定できません。設定方法は

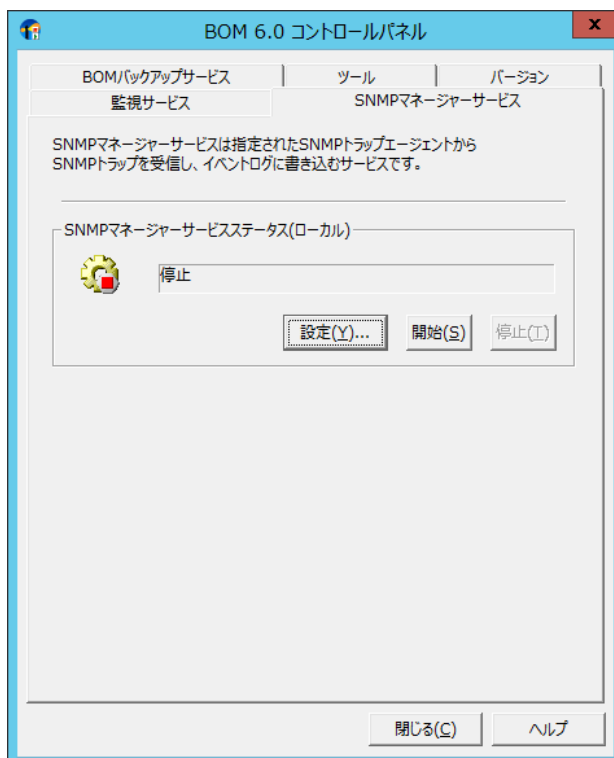
‘SNMP マネージャーサービスの受信設定 設定ファイルからの方法 (v1, v2c, v3 用)’を参照してください

1. スタートメニューより、“BOM 6.0 コントロールパネル”を選択します。

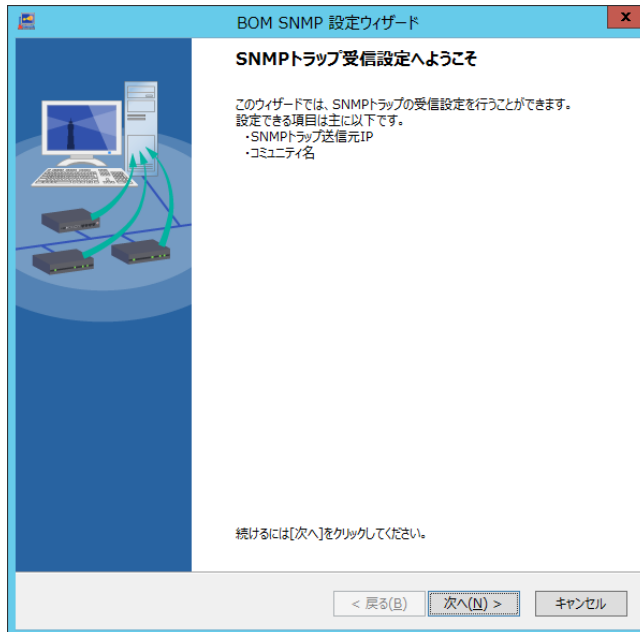


2. BOM 6.0 コントロールパネルが起動します。

3. 「SNMP マネージャーサービス」タブを選択し、[設定]ボタンをクリックします。

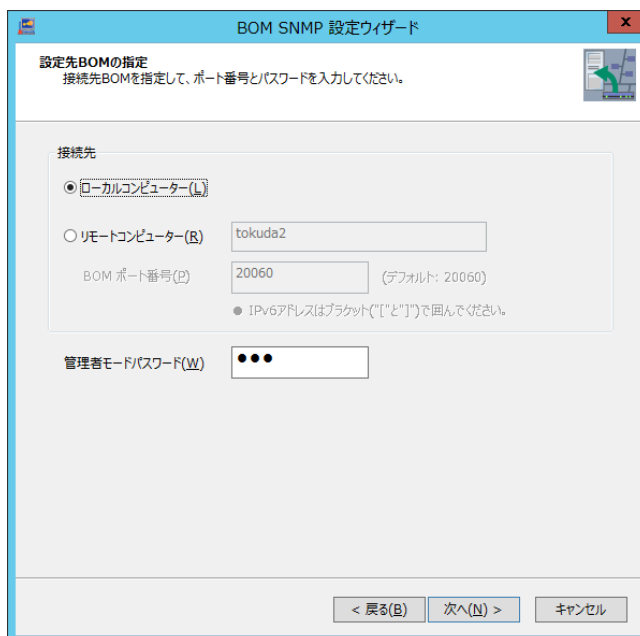


4. “BOM SNMP 設定ウィザード”が起動しますので[次へ]ボタンをクリックします。

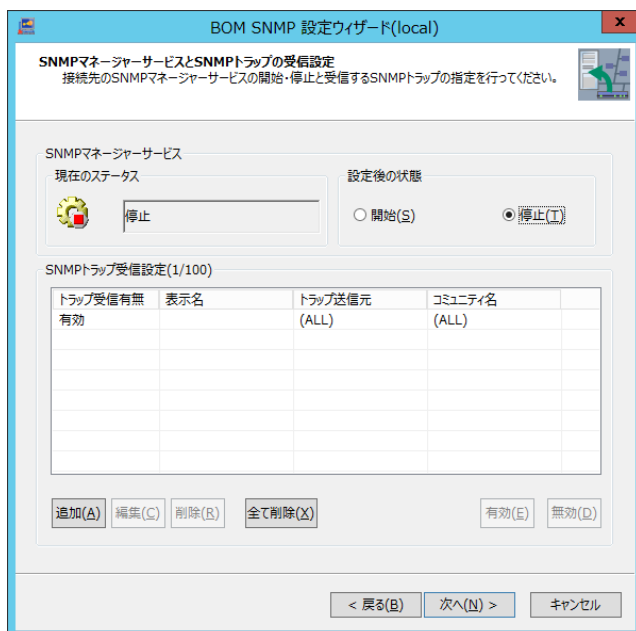


5. SNMP トラップ受信設定先の BOM を指定します。

ここでは“ローカルコンピューター”を選択し、管理者モードパスワードを入力後[次へ]ボタンをクリックします。

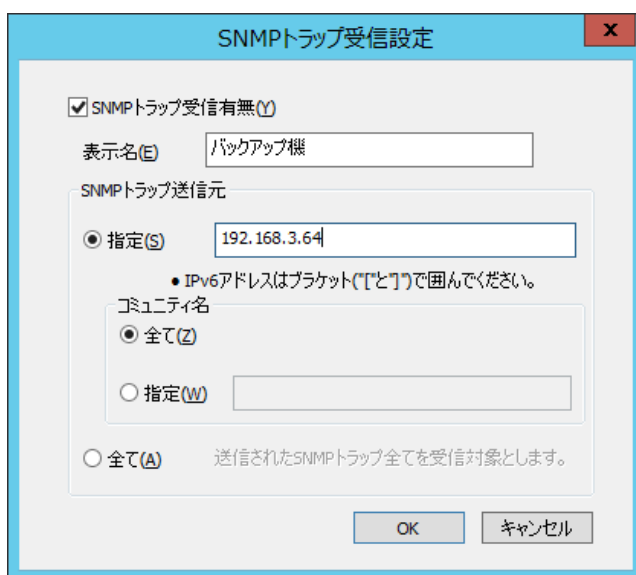


6. SNMP トラップ送信元の設定を行うため、[追加]ボタンをクリックします。



7. SNMP トラップ送信元情報の IP アドレスを入力し[OK]ボタンをクリックします。

※コミュニティ名を指定する場合には“指定”ラジオボタンをクリックしていただき、コミュニティ名を入力してください



- コミュニティ名に指定できる文字列は以下の通りです

➤ 指定可能な文字列

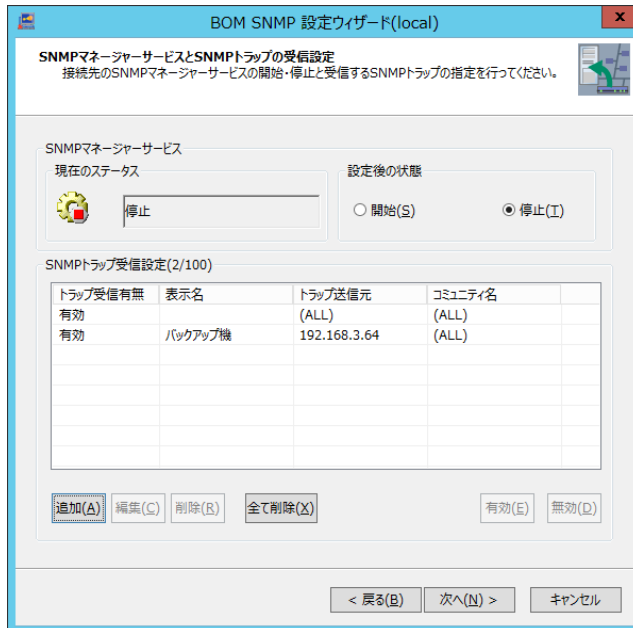
半角英字大文字小文字

数字

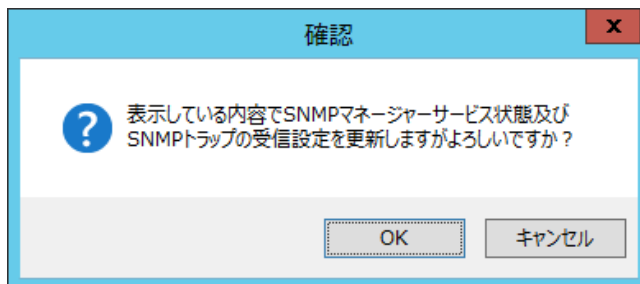
特殊記号 !"#%&' \*+, -./:;<=>?@ ¥^\_` |~ (半角スペース)

※括弧は指定することができません

8. 入力した設定内容が反映されたことを確認し[次へ]ボタンをクリックします。

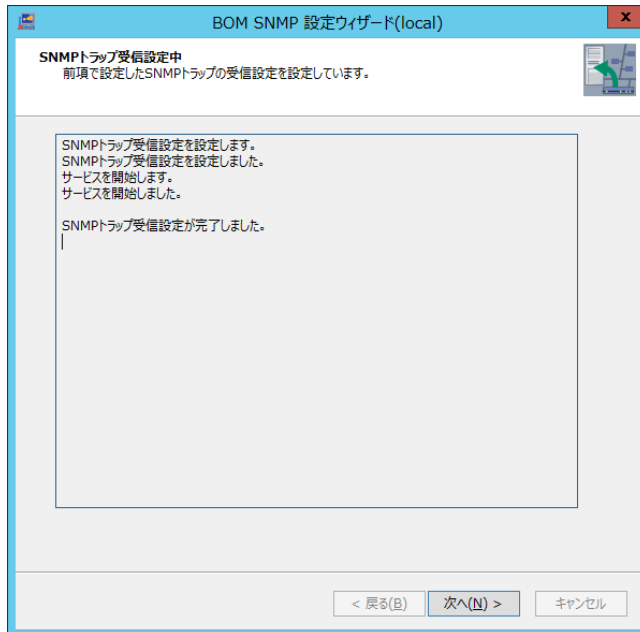


9. 設定内容の更新確認要求ダイアログが出力されますので[OK]ボタンをクリックします。

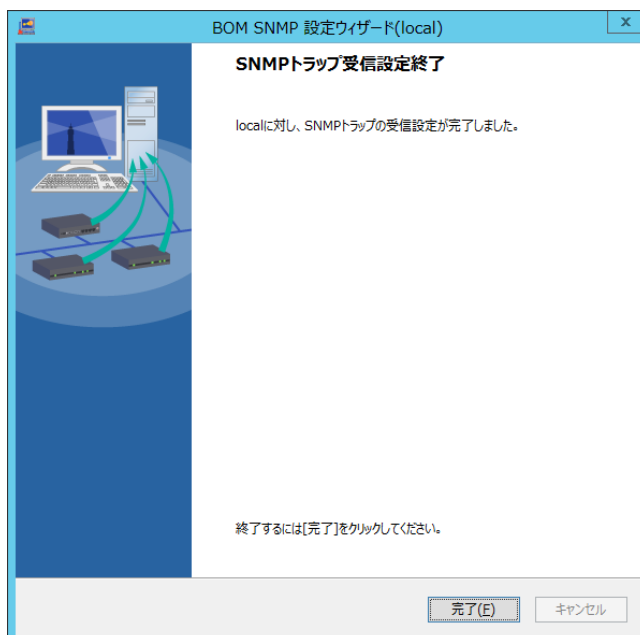


10. 設定内容変更およびサービス起動が自動で開始します。

11. サービス起動が完了したことを確認し[次へ]ボタンをクリックします。



12. [完了]ボタンをクリックします。以上で SNMP 受信設定は完了しました。



### C. SNMP マネージャーサービスの受信設定 設定ファイルからの方法(v3 用)

BOM SNMP マネージャーサービスで SNMP トラップ(v3)を受信するためには、事前送信元 SNMP トラップの設定ファイルへ各種パラメーターを指定する必要があります。

以下に SNMP マネージャーサービスでの SNMP トラップの受信設定手順の概要を示します。

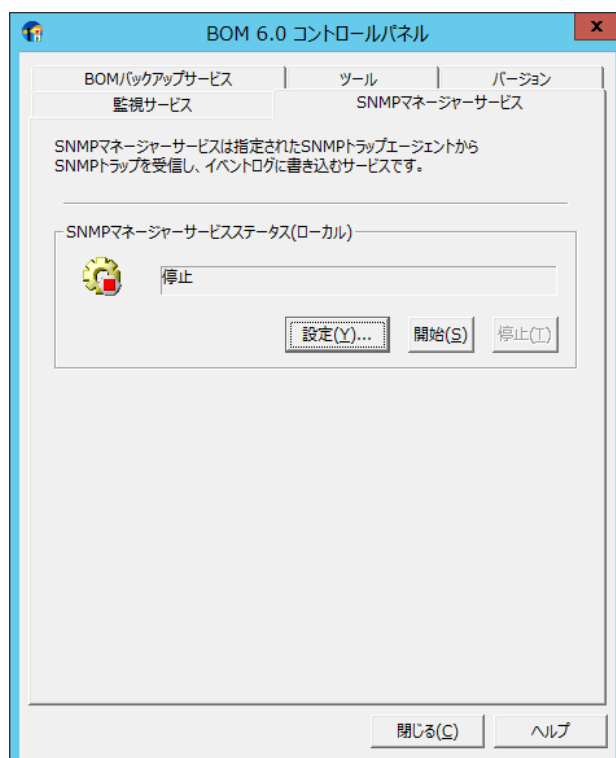
※イベントビューアーが起動されている場合には閉じてから実施してください

1. スタートメニューより、“BOM 6.0 コントロールパネル”を選択します。



2. BOM 6.0 コントロールパネルが起動します。

3. 「SNMP マネージャーサービス」タブを選択し、SNMP マネージャーサービスが開始されていた場合には[停止]ボタンをクリックします。





4. “(BOM インストールディレクトリ)BOMW6¥Common¥snmp¥Config”配下にある“SnmpV3Setting.txt”ファイルを開きます。
5. テキストファイル内に、以下の入力フォーマットに準拠した内容で記述します

#### 入力フォーマット

パラメーター	説明	備考
u	ユーザー名	最大文字数:31 文字
e	エンジン ID	有効文字数:10～32 文字
a	認証方式	MD5/SHA のいずれかを指定
A	認証パスワード	※暗号化用ツールで生成されます 編集を行わないでください
AP	認証パスワード(平文)	有効文字数:8～64 文字 使用許可文字:英大小、数字 使用許可記号:-`!@#\$( )-+=[]{};,:?/._ 禁則記号:¥"<> &%^
x	暗号化方式	DES/AES のいずれかを指定
X	暗号化パスワード	※暗号化用ツールで生成されます 編集を行わないでください
XP	暗号化パスワード(平文)	有効文字数:8～64 文字 使用許可文字:英大小、数字 使用許可記号:-`!@#\$( )-+=[]{};,:?/._ 禁則記号:¥"<> &%^

入力例)

```
-u:say -e:0x80001F88808518000016111757
-u:saymd5des -e:0x80001F88808518000016111757 -a:MD5 -AP:md5Qa2ws3e -x:DES XP:desQa2ws3e
```

6. 「SNMP マネージャーサービス」タブを選択し、[開始]ボタンをクリックし SNMP マネージャーサービスを開始します。



## 第3章 アンインストール

### 3.1 BOM SNMP マネージャーサービス アンインストール前の事前準備

BOM SNMP トラップ受信機能をアンインストールする際、アンインストール作業前に下記の作業を実施しておく必要があります

- 管理者権限を持つアカウントにてログインしていること
- Windows のイベントビューアーウィンドウが開いていないこと
- BOM SNMP 設定ウィザードが開いていないこと
- BOM 6.0 マネージャーを終了していること
- BOM 6.0 コントロールパネルを終了していること

### 3.2 アンインストール手順

SNMP トラップ受信コンピューターから、BOM SNMP マネージャーサービスをアンインストール手順について以下にご案内いたします。

なお、アンインストール作業は管理者権限が必要となりますので、管理者権限を持つアカウントにてログオンの上作業を行ってください。

以降の手順は必要な作業項目の概要のみを抽出した概略手順となります。

#### 3.2.1 BOM SNMP マネージャーサービスのアンインストール

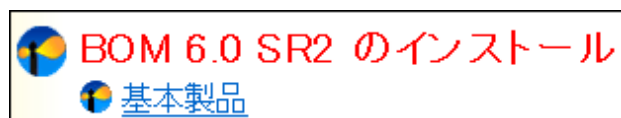
BOM SNMP マネージャーサービスのアンインストールは、以下の手順にて実施します。

##### A. BOM SNMP マネージャーサービスのアンインストール

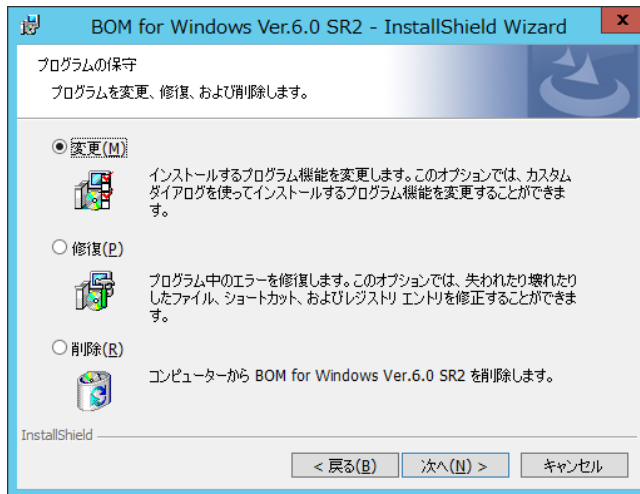
1. BOM 6.0 SR2 の DVD-ROM をコンピューターに挿入し、インストールランチャーを起動します



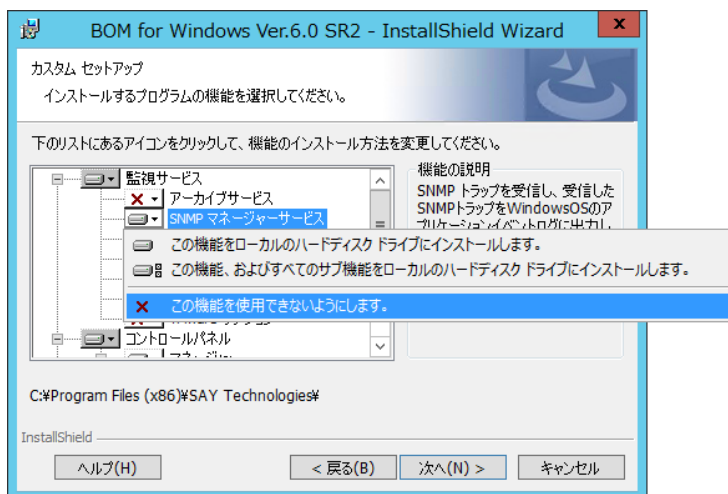
2. “基本製品”をクリックします



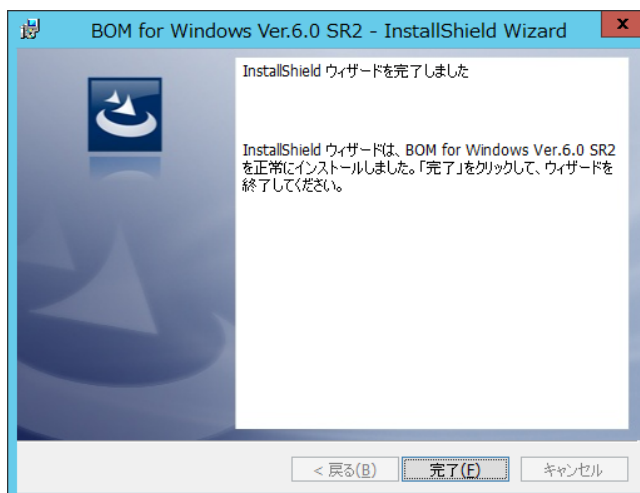
3. “プログラムの保守”画面にて、“変更”を選択し、[次へ]ボタンをクリックします



4. “SNMP マネージャーサービス”にて、ハードディスクアイコンをクリックしたメニューから“この機能を使用できないようにします。”を選択します



5. セットアップウィザードに従い、BOM SNMP マネージャーサービスのアンインストールを完了させます



## 第4章 設定ファイルの編集

各種設定ファイルで詳細な設定を行うことにより、フィルターやイベントレベル等の指定を行うことが可能です。

設定ファイルが格納されている場所

“(インストールパス) SAY Technologies¥BOMW6¥Common¥snmp¥Config”

なお、各種設定ファイルは 1 行 1 設定となり、改行を行うことにより複数設定することが可能です。

※同一ユーザー、同一エンジン ID で複数行設定されている場合には、一番下の行に記載されている設定が適用されます

設定ファイル名	概要
EventLevel.txt	イベントログに書き込む際のイベントレベルを “情報”、“警告”、“エラー”から指定できます。
FilterBlack.txt	イベントログに書き込まないトラップを指定できます。
FilterWhite.txt	イベントログに書き込むトラップを指定できます。
GetOIDList.txt	BOMSnmp サービス起動時のみに動作する SnmpGet の 対象 OID を指定します。
snmpV3Setting.txt	SnmpV3 を使用する際に設定が必要です。

### 4.1 EventLevel.txt

イベントログに書き込む際のイベントレベルを“情報”、“警告”、“エラー”から指定できます。

設定するための値及び入力例は以下の通りです。

1: INFORMATION, 2: WARNING, 3: ERROR

入力例

3,認証エラー

1,ログイン成功

### 4.2 FilterBlack.txt

イベントログに書き込まないトラップを指定できます。

記述方法は正規表現のルールに従い記述することが可能です。(正規表現の最大文字数は 1024 文字です)

入力例

¥.1¥.3¥.6¥.1¥.2¥.1¥.1¥.5¥.0

なお、イベントログに書き込まれなかったトラップは別途ローカルのログファイルへと出力されます。

出力先

“(BOM インストールディレクトリ)BOMW6¥Common¥snmp¥logs¥FilterLog\_YYYYMMDD.txt“

※YYYYMMDD: 出力日 (YYYY: 年, MM: 月, DD: 日)

フィルターログは最大 5 日分保持され、6 日目のログが作成された際に一番古いログが削除されます。

ログファイルのローテーションは毎日 0:00 に実施されます。

例)

①現時点

FilterLog\_20160605.txt ※次回削除対象

FilterLog\_20160606.txt

FilterLog\_20160607.txt

FilterLog\_20160608.txt

FilterLog\_20160609.txt

②FilterLog\_20160610.txt 新規作成した場合

FilterLog\_20160606.txt

FilterLog\_20160607.txt

FilterLog\_20160608.txt

FilterLog\_20160609.txt

FilterLog\_20160610.txt

### 4.3 FilterWhite.txt

イベントログに書き込むトラップを指定できます。

記述方法は正規表現のルールに従い記述することが可能です。(正規表現の最大文字数は 1024 文字です)

入力例

¥.1¥.3¥.6¥.1¥.2¥.1¥.1¥.5¥.0
-----------------------------

なお、イベントログに書き込まれなかったトラップは別途ローカルのログファイルへと出力されます。

詳細については ‘4.2 FilterBlack.txt’ を参照してください

## 4.4 GetOIDList.txt

BOMSnmp サービス起動時のみに動作する SnmpGet の対象 OID を指定します。

取得した Snmpget の情報はイベントログへと出力されます。

※ただし、取得した情報は“FilterBlack.txt”及び“FilterWhite.txt”のフィルター処理および、“EventLevel.txt”のイベントレベル指定処理が行われますのであわせてフィルター設定も確認をしてください。

パラメーター	説明	備考
v	SNMP バージョン	必須 1/2c/3 のいずれかを指定
c	コミュニティ名	V1/V2 のみ必須 最大文字数:255 文字 使用許可文字:英大小、数字 使用許可記号:~`!@#\$( )-+=[]{};,:?/._ 禁則記号:¥"<> &%^ (スペース)
agent	IP アドレス	必須 v6 指定の場合は udp6:[(v6 アドレス)]で囲む
oid	OID	必須 最大文字数:2000 文字
u	ユーザー名	V3 使用時に指定が必須 最大文字数:31 文字 使用許可文字:英大小、数字 使用許可記号:~`!@#\$( )-+=[]{};,:?/._ 禁則記号:¥"<> &%^ (スペース)
e	エンジン ID	V3 使用時に指定が可能 有効文字数:10～32 文字
a	認証方式	V3 使用時に指定が可能 MD5/SHA のいずれかを指定
A	認証パスワード	※暗号化用ツールで生成されます 編集を行わないでください
AP	認証パスワード(平文)	V3 使用時に指定が可能 有効文字数:8～64 文字 使用許可文字:英大小、数字 使用許可記号:~`!@#\$( )-+=[]{};,:?/._ 禁則記号:¥"<> &%^ (スペース)
x	暗号化方式	V3 使用時に指定が可能

DES/AES のいずれかを指定		
X	暗号化パスワード	※暗号化用ツールで生成されます 編集を行わないでください
XP	暗号化パスワード(平文)	V3 使用時に指定が可能 有効文字数:8~64 文字 使用許可文字:英大小、数字 使用許可記号:-`!@\$*()-+=[]{}:;','?/_ 禁則記号:¥"<> &%^ (スペース)

入力例)

```
-v:2c -c:public -agent:172.21.33.173 -oid:.1.3.6.1.2.1.1.5.0

-v:3 -u:say -l:authPriv -a:SHA -AP:Qa2ws3e -x:AES -XP:Qa2ws3e -agent:udp6:[fe80::20c:29ff:fed9:f615]
-oid:.1.3.6.1.2.1.1.5.0
```



## 4.5 snmpV3Setting.txt

SnmpV3 を使用する際に設定が必要です。

パラメーター	説明	備考
u	ユーザー名	最大文字数:31 文字 使用許可文字:英大小、数字 使用許可記号:-`!@#\$(*)-+=[]{}:;','?/_. 禁則記号:¥"<> &%^ (スペース)
e	エンジン ID	有効文字数:10～32 文字
a	認証方式	MD5/SHA のいずれかを指定
A	認証パスワード	※AP パラメーターの有効文字に準ずる
AP	認証パスワード(平文)	有効文字数:8～64 文字 使用許可文字:英大小、数字 使用許可記号:-`!@#\$(*)-+=[]{}:;','?/_. 禁則記号:¥"<> &%^ (スペース)
x	暗号化方式	DES/AES のいずれかを指定
X	暗号化パスワード	※XP パラメーターの有効文字に準ずる
XP	暗号化パスワード(平文)	有効文字数:8～64 文字 使用許可文字:英大小、数字 使用許可記号:-`!@#\$(*)-+=[]{}:;','?/_. 禁則記号:¥"<> &%^ (スペース)

入力例)

4.6 -u:say -e:0x80001F88808518000016111757  
-u:saymd5des -e:0x80001F88808518000016111757 -a:MD5 -A:md5 Qa2ws3e -x:DES -X:des Qa2ws3e

## 設定ファイル暗号化ツール

“GetOIDList.txt”および“snmpV3Setting.txt”ファイルは暗号化されていない為、“BomSNMPUsmEncrypt.exe”ファイルを使用し暗号化しておく必要があります。

使用方法は以下の方法で実施してください。

1. “(インストールパス) SAY Technologies¥BOMW6¥bin”を開きます
2. Bin フォルダに格納されている“BomSNMPUsmEncrypt.exe”ファイルを選択し、コンテキストメニューから“管理者として実行”を選択します。
3. “BomSNMPUsmEncrypt.exe”を実行すると、“C:¥Program Files (x86)¥SAY Technologies¥BOMW6¥Common¥snmp¥Config”に格納されている以下のファイルが暗号化されます。

暗号化されるファイル

“GetOIDList.txt”

“SnmpV3Setting.txt”

4. なお、暗号化前のファイルについては、同階層に“(ファイル名)\_back.txt”とリネームされ保存されます。

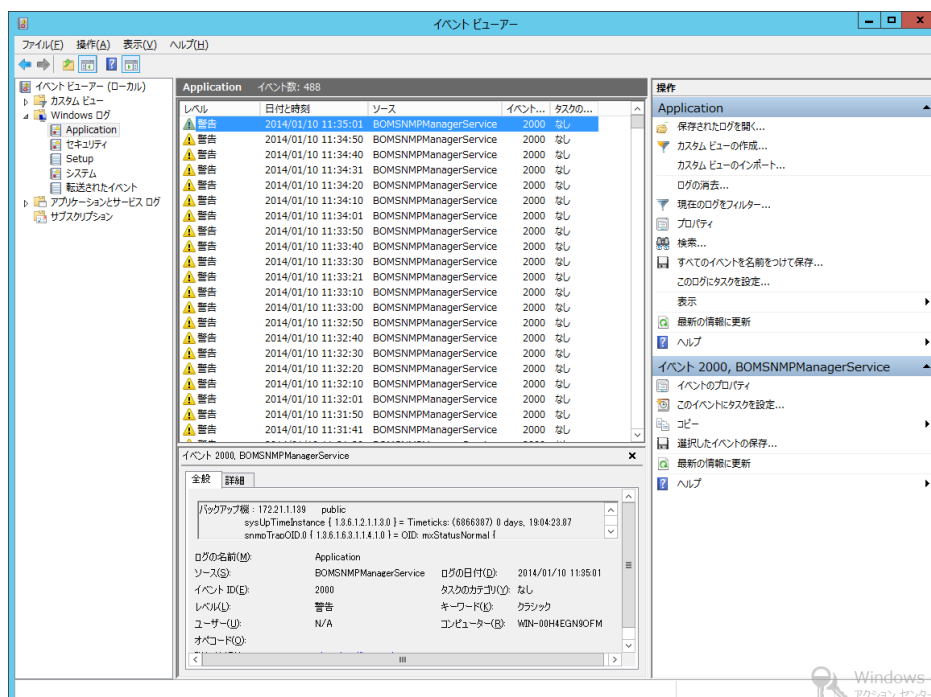
## 第5章 SNMP トラップ受信

### 5.1 トラップ受信について

SNMP Agent からトラップを正常に受信できた場合、下記図のように Windows のイベントログへ自動で書き込みます。

なお、書き込まれるイベント ID については、以下の通りです。

イベント ID	詳細
2000	受信した SnmpTrap
2001	初回動作時の SnmpGet



【SNMP トラップ受信例】



【SNMP トラップ内容詳細例】

## 第6章 BOM マネージャーとの連携

別途弊社で用意している監視テンプレートを適用していただくことにより、SNMP トラップ受信機能と連携することが可能です。

SNMP トラップ受信コンピューターに、BOM 監視テンプレート“BOM SNMP トラップ受信機能監視”の適用手順を以下にご案内いたします。

※ 以降の手順は必要な作業項目の概要のみを抽出した概略手順となります。

BOM 6.0 の詳細な導入、操作手順については、‘BOM for Windows Ver.6.0 インストール マニュアル’をご参照ください。

### 6.1 BOM SNMP トラップ受信機能監視テンプレートについて

#### 6.1.1 注意点


本テンプレートは、以下の条件を満たしている場合にご利用頂けます。

- BOM 6.0 SR2 の動作要件を満たし、正常にインストールされ動作していること。
- “BOM for Windows Ver.6.0 SNMP トラップ受信機能”が正常にインストールされサービス稼働していること。

#### 6.1.2 テンプレートの詳細について

本テンプレートを、BOM 6.0 で動作する Windows 監視インスタンスにインポートし、設定することにより、BOM for Windows Ver.6.0 SNMP トラップ受信機能 拡張モジュールが SNMP トラップを受信し出力したイベントログの監視、サービスの稼働状況監視を簡単に設定できます。

・本テンプレートには、以下の監視項目が含まれます。

監視グループ/監視項目名	初期値
 SNMP トラップ受信ログ監視	有効
 SNMP トラップ受信ログ監視	有効
 SNMP トラップ受信ログ確認 (XP,Server2003)	無効
 SNMP Get ログ監視	有効
 SNMP Get ログ監視	有効
 SNMP Get ログ確認 (XP,Server2003)	無効
 BOM SNMP Manager Service 監視	有効
 BOM SNMP Manager Service エラーログ監視	有効
 BOM SNMP Manager Service エラーログ監視 (XP,Server2003)	無効
 BOM SNMP Manager Service 監視	有効

#### A. 各監視項目の役割について

##### 1. SNMP トラップ受信ログ監視

SNMP トラップ受信機能により受信しイベントログに出力されたログを監視します。ログを検知した場合には、しきい値に従いステータスが変化し、検知したログを “ログイベントログ監視で収集されたログアプリケーション”へ蓄積します。

※SNMP トラップ受信機能を導入した OS が WindowsXP や Windows Server 2003 の場合には、“SNMP トラップ受信ログ確認 (XP,Server2003)”監視項目を有効にし、“SNMP トラップ受信ログ確認”監視項目は無効にしてください

## 2. SNMP Get ログ監視

SNMP Get 機能によりイベントログに出力されたログを監視します。ログを検知した場合には、しきい値に従いステータス  
が変化し、検知したログを“ログ¥イベントログ監視で収集されたログ¥アプリケーション”へ蓄積します。

※SNMP トラップ受信機能を導入した OS が WindowsXP や Windows Server 2003 の場合には、“SNMP Get ログ確  
認(XP,Server2003)”監視項目を有効にし、“SNMP トラップ Get ログ確認”監視項目は無効にしてください

## 3. BOM SNMP Manager Service エラーログ監視

BOM SNMP Manager Service から出力されるイベントログを監視します。

※SNMP トラップ受信機能を導入した OS が WindowsXP や Windows Server 2003 の場合には、“BOM SNMP  
Manager Service エラーログ監視(XP,Server2003)”監視項目を有効にし、“BOM SNMP Manager Service エ  
ラーログ監視”監視項目は無効にしてください

## 4. BOM SNMP Manager Service 監視

BOM SNMP Manager Service の稼働状況を監視します。

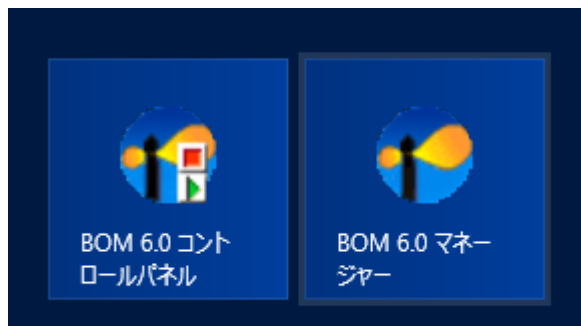
# 6.1.3 BOM SNMP トラップ受信機能監視テンプレート適用方法

テンプレートの導入方法は、下記に案内する方法で行うことが可能です。

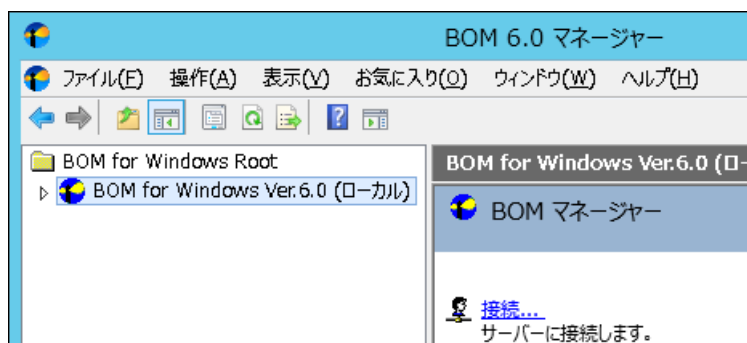
## A. SNMP トラップ受信機能監視項目の作成

SNMP トラップ受信機能監視項目を作成する手順は以下の通りです。

1. スタート画面より、“BOM 6.0 マネージャー”を選択します”



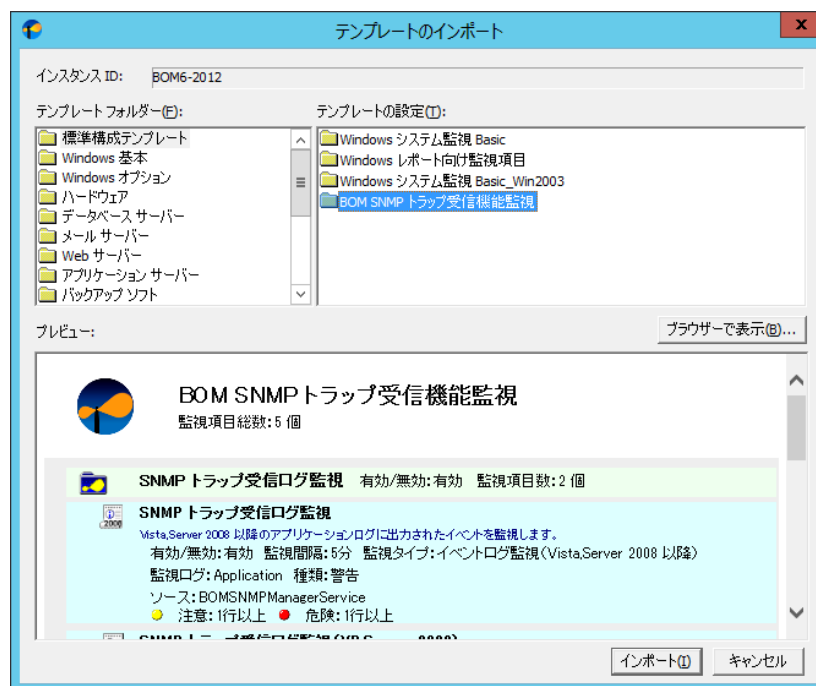
2. BOM マネージャーにて、“接続”をクリックし、監視コンピューターに接続します



3. スコープペインにて、SNMP トラップ受信機能を監視したい Windows 監視インスタンスを選択し、右クリックメニューから“テンプレートのインポート”をクリックします

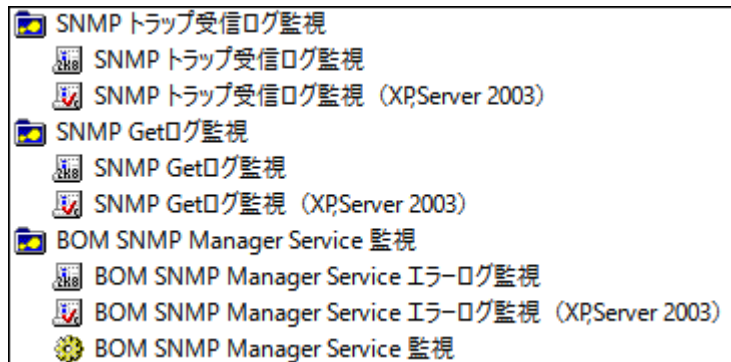


4. “テンプレートフォルダー”にて、“標準構成テンプレート”を、“テンプレートの設定”にて、“BOM SNMP トラップ受信機能監視”をクリックします



5. [インポート]ボタンをクリックし、テンプレートをインポートします

6. スコープペインにて監視グループ“SNMP トラップ受信ログ監視”及び、“BOM SNMP Manager Service 監視項目”が作成されたことを確認します



- ※ 以下の監視項目は初期値で監視が無効になっています。必要に応じて監視を有効にしてください。

監視項目名

“SNMP トラップ受信ログ監視 (XP,Server 2003)”

“SNMP Get ログ監視 (XP,Server 2003)”

“BOM SNMP Manager Service エラーログ監視 (XP,Server 2003)”

- ※ BOM の監視設定の変更方法やテンプレートの利用方法などの詳細については、‘BOM for Windows Ver.6.0 ユーザーズ マニュアル’をご参照ください。

## 第7章 Q&A

Q A社のMIBファイルを指定した場所へ置いたが、SNMP Agentから送信されてきたトラップの内容が生データのまま、イベントログに書き込まれている。

A BOM SNMPトラップ受信機能サービスで対応していないMIBファイルを置いている可能性が考えられます。

BOM SNMPトラップ受信機能サービスでは以下のRFCに準拠しているMIBファイルのみ対応しています。

準拠が必要なRFC 2578,2579,2580

Q BOMを導入後、BOM SNMPトラップ受信機能サービスをインストールしてトラップを受信していたが、ある期間の後にイベントログにトラップ内容が書き込まれなくなったがなぜか。

A BOMマネージャー側で、適用していたライセンスが評価キーであり、評価期間が終了している可能性が考えられます、

BOM SNMPトラップ受信機能サービスはBOMマネージャー側で登録されているWindows監視インスタンスのライセンスキーと連動しています。BOMマネージャー側のライセンスマネージャーを確認し、有効なWindows監視インスタンスの製品キーが正しく登録されているかを確認してください。

Q SNMP Agentからトラップを送信しているが、イベントログに一切書き込まれない。

A BOM SNMPトラップ受信機能サービスをインストールしたWindowsOS側のファイアウォール設定/ファイアウォール製品で、SNMPトラップが正常に受信できることを確認してください。

ポート番号 162

Q BOM SNMP マネージャーサービスを起動したが、WindowsのイベントログにID:6103のエラーが記録される。

A BOM SNMP マネージャーサービスでは、IPv4およびIPv6のSNMP使用ポート(ポート番号 162)が正常に使用できるかをサービス起動時に確認を行っております。

ご利用の端末がIPv4またはIPv6のみ設定されている場合には該当エラーを無視してください。

IPv4およびIPv6両方でトラップを待ち受けたい場合には、エラー内容に従い、正常に受信できるかを再度確認してください。

Q BOM SNMP マネージャーサービスを起動したが、WindowsのイベントログにID:6104のエラーが記録される。

A MIBフォルダーにコピーしたサードパーティー製のMIBファイルの中に、BOM SNMPトラップ受信機能サービスで読み込めないMIBが含まれる可能性があります。

イベントログに記載されているエラー内容または、以下のアドレスに出力されているログファイルを確認し、エラーとなっているmibファイルをmibディレクトリから移動後、BOM SNMP マネージャーサービスを再起動してください。

ログファイルの出力場所 “BOM インストールディレクトリ¥BOMW6¥Common¥snmp¥logs¥BomSnmpManager.txt”



## 第8章 ライセンス表記

BOM SNMP トラップ受信機能はそれぞれのライセンス形態に従ってオープンソースソフトウェアを利用しております。

各ソフトウェアを開発された開発者、および開発コミュニティの皆様に深く感謝いたします。

各ソフトウェアを開発された開発者、および開発コミュニティにより、同梱が定められているオープンソースのライセンス条文については、“BOM 6.0 インストールフォルダー¥BOMW6¥Common¥Licenses”フォルダーに同梱されていますのでご参照ください。

BOM SNMP トラップ受信機能で使用している代表的なオープンソースソフトウェアの一例

●Net-SNMP

BOM SNMPトラップ受信機能 Ver.6.0  
ユーザズ マニュアル

---

2014 年 2 月 7 日 初版  
2016 年 7 月 1 日 改訂版  
著者 セイ・テクノロジーズ株式会社  
発行者 セイ・テクノロジーズ株式会社  
発行 セイ・テクノロジーズ株式会社  
バージョン Ver.6.0.24.3

Copyright © 2014-2016 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.

---